

北部農業の将来モデル構想

作成年月日	令和 6 年（2024年） 6月 12日
農業農村振興事務所 農産普及課名	湖北農業農村振興事務所 農産普及課
対 象 品 目	ナシ

1. 将来モデル構想の概要

- 湖北地域（長浜市・米原市）で栽培される新たな特産品目の開発に向け、巡回指導や視察研修会等を通じた栽培技術習得や設備導入の支援を行い、ナシ栽培のモデル経営体を育成する。
- 管内直売所や長浜合同青果の需要量へ対応するため、ナシ低樹高栽培に関する広報活動により、新規栽培者 6 名（うち新規就農者 3 名）を確保し、栽培者 10 名、合計栽培面積 1 ha を目指す。
- 生産者組織の設立およびロゴシールの作成により、収穫最盛期を迎える令和 9 年度以降に統一ブランドによる市場出荷を中心とした販売ができるよう準備を進める。
- 将来的には、バリアフリー観光果樹園開設などの地域振興に向けた取組を進める。

2. 将来モデル構想地域の現状

- 地場産の出荷はほとんどなく、管内直売所では他県や県内他地域から仕入れたナシが販売されている。
- 令和 4 年度に長浜市および JA 北びわこと連携して栽培志望者の掘り起こしを行い、現在までに 3 名の新規栽培者を確保。令和 5 年度末の栽培者は 4 名で、合計栽培面積は 27a である。なお、すべての園において成園には至っていない。
- 全栽培者が果樹栽培未経験であり、栽培技術は苗木育成等を通じて現在進行形で学ばれている。

3. 将来モデル構想地域の目指す姿

- ナシが長浜市の特産品として認知され、直売所等で人気品目となっている。
- 農家同士の活発な情報交換が行われ、相互的な技術向上が図られている。
- バリアフリー観光園に関心を示す栽培者が現れ、開設に向けた計画の検討が始まっている。

4. 将来モデル構想の目標（令和 9 年度を目標年度とする）

年 次	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度 目標
対象品目での地域 内での新規就農者 増加数(人) ※1	—	1	2	3
合計栽培面積 (a)	35	50	70	100
生産者組織数	—	1	1	1

(注) ※1 現状年からの累計人数を記載する。また、新規就農者には親元就農、雇用就農、独立自営就農を含む。

5. 将来モデル構想の実現に向けて必要な機械、施設等を導入する対象農業者の姿

- 低樹高栽培用の簡易棚を設置し、圃場準備、果樹用ネットの設置、灌水設備や獣害対策等の安定的なナシ生産が可能な基盤整備が進められている。
- 新規栽培希望者に対して、栽培技術等に関する情報提供を行い、栽培技術研修の場として自らの農場を積極的に提供している。
- 栽培者同士の栽培技術等に関する情報交換を積極的に行っている。